

図書館員のひみつの本棚 第131回

みなさんは最近「手紙」を書きましたか？

『てがみはすてきなおくりもの』

スギヤマ カナヨ／著 講談社 2003年 1404円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

四角いはがきや便せんでなくても、手紙をだすことができるのを知っていましたか？大きな葉っぱや、ガチャポンのケース、ホタテの貝がら、紙皿でも、ちゃんと住所を書いて切手を貼れば、郵便屋さんは届けてくれるのです。この本には、そんなちょっとおどろきの手紙たちが、カラー写真でたくさん紹介されています。

そして、手紙を書くのは用事がないときでも大丈夫。ありがたい気持ちを伝えたい時、おもしろい切手や貝殻を見つけたとき、夏休みで友達に会えない時など、いつでも手紙は書く人の気持ちを相手に伝えてくれます。

遠くに住んでいる人でなくても、すぐそばの家族にでも、手紙は特別な贈り物になるのです。ぜひ、この本を読んだら誰かに手紙を書いてみませんか。

外国への手紙の書き方や、郵便の定型サイズについてなど、郵便の豆知識も載っています。

<子どもに手渡す時のポイント>

2003年の刊行なので、定型サイズの基本料金など少し数字が現在と違う箇所がありますが、手紙の良さを伝えてくれる1冊です。本にも記載がありますが、「こんな手紙だせるかな」という子どもには、郵便局に一度問い合わせるようにアドバイスしてあげるとよいと思います。

我が家の4歳の息子も、この本を読んで人生初のハガキをお父さんに出しました。

「ゆきだるま、つくってくれてありがとう。」

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館 や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか